



埼玉・群馬の健康と医療を支える 未来医療人の育成 Newsletter

第7号

■ 発行 埼玉医科大学／群馬大学 Saitama Medical University / GUNMA UNIVERSITY

令和6年度 埼玉・群馬未来医療人育成シンポジウムを開催しました

群馬大学大学院医学系研究科 総合医療学講座 総合医療学分野 教授 小和瀬 桂子

■ テーマ：「地域から地域へ！つながる未来の医療人を育てる」

令和7年3月2日、エテルナ高崎（群馬県高崎市）において、令和6年度埼玉・群馬未来医療人育成シンポジウムを開催しました。会場、オンラインあわせて、184名の皆様にご参加いただきました。

第一部の特別講演では、富山大学医学教育学講座教授の高村昭輝氏から、「未来の医療人～地域医療を守るプライマリ・ヘルス・ケア医とは～」と題して、医学教育や地域医療について、中高生や医学生向けにご講演いただきました。医学教育学の第一人者で、医学生にも大変人気のある高村先生のお話には、これから医学を目指す若者の背中を押すようなメッセージが込められていました。ご自身の海外でのご経験、文化的背景と地域医療との関係性や重要性について、多岐にわたるお話をいただきました。海外や地域の写真はどれも新鮮で、多くの参加者から大変有意義だったとの感想がありました。

第二部では、埼玉医科大学・群馬大学合同で、教育プログラムの振り返りを行いました。医学生を中心に学修成果を報告し、「地域を基軸とした優れた実地臨床医家の育成（プログラム1）」と「はじめて学ぶ地域医療～かしこく健康に生きる～（プログラム4）」では、両県の住民の視点から「地域を知る」学修を行い、コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いた地域の課題抽出・グループ討論の成果について発表しました。プログラム3とプログラム5では、合同実習の「利根川プログラム」について、バスツアーや医師不足地域での臨地実習からの学びを発表しました。また、埼玉医科大学の新たな取り組みとして、「総合診療とプライマリ・ケア」、「在宅医療早期体験実習」の報告がありました。

登壇した医学生は低学年生も含まれましたが、皆、堂々と発表しており、頼もしい限りでした。参加者アンケートでも、「医学生が肌で感じたことを生の声で聴くことができ、医学生の熱意を感じた」、「医学生ならではの視点で、わかりやすい説明が素晴らしかった」、など、多くの感想をいただきました。日曜日開催ということもあり、一般参加者が多く、両大学の教育や取り組みを知ること、地域医療への関心や理解を深める機会となったのではないかと思います。



高村先生ご講演



埼玉医科大医学生発表（プログラム1）



群馬大医学生発表（利根川プログラム）



シンポジウム会場（エテルナ高崎）



シンポジウムを終えて



特別講演に対する感想（ワードクラウド）
地域医療、総合診療医、海外でのご経験について、多数の感想が寄せられました。

令和6年度第1回連携推進会議

群馬大学大学院医学系研究科 総合医療学講座 総合医療学分野 教授 小和瀬 桂子

■「地域から」地域医療マインド育成に取り組みます

令和6年度、すべての教育プログラムの拡充・開発が完成年度を迎えました。令和6年度第1回連携推進会議が令和7年3月2日に開催され、令和6年度の事業報告の中で、新規開講/改編科目として、プログラム1(地域医療とチーム医療2、臨床入門1 在宅医療早期体験実習、特別演習コモンディーズの臨床推論、CCStep3 指定学外施設実習での事前地域診断)、プログラム2(地域医療とチーム医療3 感染症データサイエンス演習)、プログラム3(CCStep3 指定地域学外施設実習)について報告がありました。両大学の教育は、外部評価委員会からの高評価をいただき、令和7年度、さらなる展開が期待されています。両県の関係者及び医療機関との連携を強化し、地域の多様な教育資源を基盤に「地域から」地域医療マインド育成に取り組むことが確認されました。



令和6年度医学生とのふれあい相談会を開催しました

群馬大学医学部附属病院 地域医療研究・教育センター 講師 羽鳥 麗子

当事業ではじめてのイベントとして、医師を目指す中高生の皆さんのために、「医学生とのふれあい相談会」を令和7年3月2日に群馬県高崎市のエテルナ高崎にて開催いたしました。中高生・受験生43名が会場に参加して、埼玉医科大学と群馬大学の医学生 合計33名が中高生の悩みや質問に答えました。会場はとても明るい雰囲気、中高生と医学生が楽しく会話をしている様子が見られました。また、会場には、当事業の関連動画を視聴するコーナーや、地域枠制度、入試関連の相談コーナーも設けて、保護者の方にもご利用いただきました。相談内容は、大学生活や受験勉強や、モチベーションなどの精神面まで多岐にわたり、両大学の医学生の温かい励ましやアドバイスにより、参加者全員が大変有意義だったと好評でした。



● ふれあい相談会に参加した中高生に対するアンケート調査結果 ●

質問「両県で働く医師を増やすためにどのような取り組みが必要か」

多くの回答が、地域枠の拡大や充実、医師が働きやすい環境作りに関するものでした。また、この相談会のような医師や医学生とのふれあいの場を増やすこと、医療に関心を持つ為のイベントや活動を充実させるアイデアが目立ちました。さらに、医師の魅力ややりがいを伝える活動や、奨学金制度など金銭的なサポートの充実という意見が見られました。

質問「地域住民と医学生の関わりで良いと思うものはどれですか」

- 医学生と地域住民との対話型ワークショップ
- 医学生の地域行事への参加
- 健康増進・予防活動への医学生の参加



令和7年度シンポジウムのお知らせ

令和8年

2月23日(月・祝)

会場：ウエスタ川越

※ウェビナー併用予定

※詳細が決まりましたら、ホームページ・SNSでお知らせ致します。



- 所在地
〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-17-17
- JR川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩約5分
 - 西武新宿線「本川越駅」より徒歩約15分
「本川越駅」よりバスをご利用の場合
 - 「本川越駅」西武バス乗り場①番
・新所02、本55系統
「川越駅西口」下車 徒歩約5分
・本53、本54系統
「ウエスタ川越前」下車すぐ
 - 「本川越駅」西武バス乗り場②番
・川越35、川越35-1系統
「ウエスタ川越前」下車すぐ



埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成 Newsletter 第7号



編集・発行：埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業事務局
住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
TEL：049-276-1109
発行日：2025年6月
E-mail：sgmirai-smu@saitama-med.ac.jp
URL：https://sgmirai.jp

無断転載禁止

For Students

